

SGEC 分別・表示事業体審査報告書

有限会社一山木材

平成 2 1 年 9 月

(社)全国林業改良普及協会

目 次

I . 有限会社一山木材の概要

II . 審査経過・写真

III . 有限会社一山木材の審査における判定事由書

IV . 添付資料（主な確認資料）

V . 審査判定表

I 有限会社一山木材の概要

1. 申請者名称・所在地 有限会社一山木材 代表取締役社長 山本一守
宮崎県延岡市上伊形町180-49
2. 認定事業体 有限会社一山木材
3. 事業内容・業種 木材加工業（製材業）
- （認定対象業種） 製材・集成材加工・販売

4. 沿革・概要

昭和53年、現社長山本一守が創業して以来、国産材を中心に製材を行ってきた。平成元年、乾燥機の導入をしてから、本格的にKD材や集成材用材に取り組みようになり、平成13年にツインソー導入して集成柱用ラミナの増産体制を整えた。住友林業(株)の住宅ブランド「住友林業の家」にて採用している桧集成柱「スーパーサイプレス」向けの桧ラミナシェア約15%を製造し、九州内における基幹工場として稼働している。

近年では、使用している桧間伐材の側材を利用した製品作りを積極的に行い、ホームセンター向け各種建材や集成材などの製造を本格的に取り組んでいる。

【沿革】

昭和53年	山本一守個人創業
昭和58年	法人に改組 「有限会社一山木材」となる
昭和60年	新工場（現第1工場）設立
平成元年	第1工場増設 中温式木材乾燥機2機設置
平成4年	製品倉庫新設 中温式木材乾燥機2機増設
平成13年	第2工場新設 ツイン台車設置
平成15年	オガ粉製造機2機設置
平成16年	高温式木材乾燥機2機増設（県木連助成金交付規定）
平成17年	延岡市企業立地促進条例指定工場認定 ／第3工場新設
平成18年	2t木焚ボイラー設置
平成21年	集成機（フィンガー・回転プレス）導入

【概要】

○設 立	昭和53年8月設立
○資 本 金	8,000千円
○原木消費量	19,200 m ³ /年
○年 商	4億1,690万円
○従業員数	42名（うち社員36名、パート6名）
○施 設	工場棟3棟、製品倉庫2棟、事務所棟
○原木仕入先	住友林業フォレストサービス(株) (株)熊本木材（本社・上球磨支店） (株)日本製紙木材 延岡地区森林組合 他
○製品出荷先	住友林業フォレストサービス(株)(宮崎県日向市ほか) (株)ハンズマン(宮崎県都城市ほか) (株)ナフコ(福岡県北九州市ほか) (株)イオン九州(福岡市) (有)サンケイ(宮崎県日向市) ※その他：関西の指定集成材工場 ／(株)天理集成材、(株)吉銘など

【木材・木製品の年間取扱実績】

（平成20年1月1日～平成20年12月31日）

原木入荷量	19,200 m ³
製品出荷量	8,000 m ³

【主要設備】

- ・ ツイン台車（中部機械）
- ・ ツインテーブル（大井製材所）
- ・ 台車（鳥羽鉄工）
- ・ 製材機（鳥羽鉄工 一式）
- ・ クロスカットソー（飯田工業製）
- ・ ギャングソー（庄田鉄工 2機）
- ・ モルダー（ヴァイニッヒ）
- ・ 高周波プレス（山本ビニター）
- ・ パネルソー（協和機工）
- ・ サンダー（エスシーエム マルナカ）
- ・ 乾燥機（6機）新柴設備

- ・オガ粉製造機（2機）南九州機械製作所
- ・ライマンギャングリップソー（ヴァイニッヒ）
- ・オプティカットソー（ヴァイニッヒ）
- ・2t木屑ボイラ（新柴設備）

5. 分別・表示管理体制の確立

有限会社一山木材には、原木土場及び製材加工を行う加工場、製材品の天然及び人工乾燥・保管場所、在庫製品保管倉庫が設置され、原木及び製品は、用途別に分別管理されている。

認証林産物の取扱に関しては、「認証林産物の分別・表示管理方針書」を定めており、「SGEC認証森林から産出された認証林産物とそれ以外の林産物が受入、保管、加工、出荷の各段階で混在しないよう、全体を統括する「認証林産物管理責任者」、分別・表示管理を担当する「分別表示責任者」、各工程の担当者を設置し管理体制を確立するとともに、伝票など帳票類を作成・保存し認証林産物の普及・PRに努めることとしている。

なお、別に「認証林産物の生産・出荷管理計画書」及び「SGEC分別・表示管理体制表」を定め、適正に認証材の分別・表示管理を実施するための体制を取っていることを確認した。

(主な確認資料)

- ・ 認証林産物分別・管理計画書
- ・ SGEC認証林産物分別・表示管理体制図
- ・ SGEC認証林産物分別・表示管理方針書
- ・ 施設・加工場配置図
- ・ 品質管理等に関する内部規定
- ・ 決算報告書
- ・ 原木実績／仕入実績表、仕入先別仕入実績表、在庫表、総合実績表
- ・ 請求書等伝票類、SGEC認証材取扱台帳等帳票類

Ⅱ. 審査経過・確認資料一覧・写真

1. 有限会社一山木材の審査経過

認定審査は、(社)全国林業改良普及協会認証審査センターの渡辺政一、鳥越貞雄、宇佐美均の3名が下記のとおり行った。

【審査申込】

平成21年7月17日／審査申込

(内 容)

1. S G E C 分別・表示システム、及び全林協の審査手順についての説明
2. 審査申込書の受付
3. 確認資料の説明

【認定審査】

8月10日／書類確認及び現地確認

(場 所)

有限会社一山木材・原木土場・製材・集成材加工ライン・人工乾燥施設・製品保管倉庫

(審査員)

(社)全国林業改良普及協会専務理事	渡辺政一
(社)全国林業改良普及協会専門審査員	鳥越貞雄
	宇佐美均

(出席者)

有限会社一山木材代表取締役	山本一守
有限会社一山木材専務	橋口博彌

(内 容)

1. 提出された書類及び資料の説明を受け、修正事項等の確認を行った。
2. 有限会社一山木材において事業の概要、現行の仕入れ・加工・保管・販売における木材の流れ・管理の仕組み等について説明を受け、併せて関連資料の審査を行った。
3. 既存の加工ライン、製品等保管庫における原料、製品の分別状況を確認した。
4. 管理方針、認証林産物の生産・出荷管理計画、分別・表示管理体制等の遵守意志を確認した。

【審査判定】

9月4日／審査委員会

(場 所)

東京都港区赤坂 1-9-13 三会堂ビル会議室

(委員名)

元東京大学教授・農学博士	山根 明臣
元東京農業大学教授・農学博士	河原 輝彦
木構造振興株式会社専務取締役・農学博士	西村 勝美
東京農工大学教授・農学博士	土屋 俊幸
(社)日本育種協会理事	真柴 孝司

(事務局)

(社)全国林業改良普及協会専務理事	渡辺 政一
同 認証審査センター	児島 裕
同 認証審査センター	野田 昭一
同 認証審査センター	宇佐美 均

(内 容)

1. 現地確認審査の結果及び SGEC の定める「認定審査」基準事項に基づき設定した「審査要件」について審査内容を説明した。
2. 提出資料、実行体制及び入荷・出荷管理の仕組み等から、申請者は認定に値する事業体であるものと認められた。

Ⅲ. 有限会社一山木材の審査における判定事由書

SGEC の定める「認定審査」基準事項に基づき、「有限会社一山木材審査判定表（分別・表示）」の 12 項目を審査要件として決定した。

これら「審査要件」に基づいて、「認定審査」を行い、審査委員会に諮ったところ、有限会社一山木材は、認定に値する事業体であるとして判定された。

なお、審査委員会により、認定取得後の「向上目標」として下記が付記された。

【向上目標】

1. 認定取得後の内部監査を適正に行い、認証林産物のトレサビリティを確立すること。（基準 3-4）
2. 関係職員に対し、十分な教育・研修を図り、分別・表示管理方針書等の趣旨を徹底すること。（基準 3-5）
3. 認証林産物の履歴証明に関わる帳票類の保存に努めること。（基準 3-6）